

元気いっぱい 友だちいっぱい  
すくすくと学ぼう 夢ついで

横浜市立美しが丘小学校 平成29年 1月 31日



# 美小通信10

横浜市情報教育ネットワーク(YI ネット)上に本校のホームページがあります。

URL : <http://www.edu.city.yokohama.jp/sch/es/utsukushi gaoka/>

学校長 畠山 真

青葉区美しが丘2丁目29

電話(901)3408

## 国語の教育

校長 畠山 真

連日のように氷っていたプールの水も、氷が張らなくなり、給食室の裏の紅梅、白梅が春の訪れを告げるかのように花を咲かせています。

厳しい寒さが続いた一月から、立春の二月へと季節は移っていきます。

一月初めには、書き初めがあり、子どもたちはそれぞれ低学年は硬筆、中・高学年は毛筆と一人ひとりが堂々とした立派な字を書いていた。3年生は、初めて書き初め用の細長い半紙に力強く「生きる力」と書いていました。6年生の書き初めの様子を体育館で見ていると、一字一字集中して、一心不乱に黙々と「希望の朝」を見事な字で書いていました。1年生から6年生までの書いた字を見ていると、6年間でこんなにも成長するんだと改めて思いました。

さて、昔から学習の基本は「読み・書き・そろばん」と言われています。本校では今年度重点研究が国語科でした。テーマが、

**「心豊かでともに生きるために、自分らしく表現し認め合おうとする子どもの育成」～分かりやすく伝えるための表現力を高める国語科の学習過程の工夫～**

でした。このテーマで、年6回外部から講師を招いて研究授業を行いました。27日に今年度最後の研究授業が1年生と5年生の学級で行われました。1年生は「たぬきの糸車」という教材でやぶれしょうじやたたみも用意され、子どもたちが一生懸命に動作を入れながら音読していました。5年生は、「一枚の写真から」という教材で、写真から見た様子を想像して自分で物語を書いていくという学習を展開していました。子どもたちがペアになり、相手の作品を読み、相互批評し、さらに良い物語にしていくという学習でした。自分の作品と向き合うということはとても大切なことで他の人から助言をもらい、さらに良い作文に仕上げていくというのは高度な学習であり、それを実践していた子どもたちの学習能力と意欲的に学ぶ姿勢が見えた授業でした。これは1年も5年も学年で協力して子どもたちの実態を捉えて行った授業の成果だと思えます。

講師で来ていただいた松永立志先生(前鎌倉女子大学准教授)からも、子どもたちの学習能力の高さにお褒めの言葉をいただきました。さらに、松永先生からは次期の学習指導要領改訂に向けた主旨と資料と共に多くのことを学ばせてもらいました。次回の指導要領の改訂に向けて、文部科学省は動き出しています。「アクティブラーニング」という言葉はよく聞かれると思いますが、「どのように学ぶか」という学びの本質として、「深い学び」「主体的な学び」「対話的な学び」が次の指導要領の改訂で重要になります。この三つの視点を考えてみますと、今回5年生が行った学習は、まさにこの視点に向けた内容のある学習だったと思えます。

子どもたちの将来のために、我々教職員も常に学ぶ姿勢を大事にして、日々努力し研鑽を積んでまいりたいと思えます。